

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

第 18 回 運営委員会 議事録

(1) 日時

2021 年 8 月 6 日 (金) 11 時~12 時

(2) 会場

Zoom オンライン会議

(3) 参加者

① 運営委員

とっとり県民活動活性化センター	毛利葉 (代理 椿善裕)
ふるさと島根定住財団	森山忍
岡山 NPO センター	石原達也
ひろしま NPO センター	松原裕樹
やまぐち県民ネット 2 1	伊藤彰

② 事務局

ひろしま NPO センター	松村渉
---------------	-----

(4) 議題

① 予算執行状況について

事務局より、休眠 2021 通常枠申請に向けた新ロジックモデル案の提案を受け意見交換を行った。

(主な意見)

- 新たに示された解決すべき課題『市民セクターが育たないこと』について、今までと比較して具体性がないことと、社会問題と言うより市民セクターの問題になっている
- 社会問題と市民セクターの問題の 2 軸があることについて意義はないが、市民セクターの問題だけでは休眠預金の趣旨とずれている
- 5 県で共通のテーマを持つことは難しいが、どの社会問題にも共通するキーワードとして従来通り格差を示してはどうか
- 格差の是正(成果)をどのように測るのかはチャレンジしていく必要がある
- 格差の是正(成果)の目線ですでに実施している事業を見た場合、都市部に比べて就労・仕事に繋がる機会が少ないという地域間格差に対して、地方に新たな生業を生み出す事業を行っている
- 所得や生活格差の問題に対しても居場所と学習支援サービス等を提供する事業を行いその是正に取り組んでいる

運営委員会による意見交換を踏まえ、新ロジックモデルにおける解決すべき課題は、格差の是正と市民セクターの育成を併せた内容に整理することとした。

事務局において意見を取りまとめ、6月25日までに第2案を作成し、運営委員会に図ることとした。

② 社会的インパクト評価戦略について

休眠 2021 通常枠において、香川県庁や香川の NPO 等からの提案を受けて岡山 NPO センターが岡山県に加えて香川県エリアを担当することになった。

また、ひろしま NPO センターにも愛媛県の NPO から資金分配団体コンソーシアムの話が合ったことが報告された。

そのことを踏まえ、四国地方を念頭にエリアの拡大についての意見交換を行った。

(主な意見)

- 四国地方においても、休眠預金の資金分配団体立候補の話が出ていることは確認している
- 助成金分配の経験がないなど、今すぐに手が上げられる状況では無いように感じている
- 四国でコンソーシアムを組んで申請という話は聞いていない
- 必用であれば中国 5 県コンソのノウハウなどを提供し、市民セクター全体に休眠預金が届くように進めていければと思う
- 2021 通常枠の申請締め切りが近く、今からコンソーシアムに入っていただくことや、エリアを広げ

ることには反対

- 当コンソは前提として長く一緒にやってきたことがある。休眠のノウハウがあると言っても信頼関係が前提に無ければ難しいと思う
- 来年度以降の申請について協力を求められれば協力するが、ある程度時間をかけて丁寧に進めるべき
- 中国5県コンソに新たにメンバー（県）が加わった場合、助成金はどうなるか
- （事務局）本年度より草の根支援の助成金上限額はなくなり、目安と言う表記になった。企画が評価されれば助成額は増額できると思うが、審査を受けてみなくては確かなことは言えない。一方で、PO 関連経費については上限が決まっているので、単純計算だがメンバーが増えれば1県あたりの予算は下がる
- 今回の岡山 NPO センターのように守備範囲を広げるパターンについてはやり様があると思うが、6県コンソは現実的ではない
- 現状のコンソの枠組みをベースとして、各市町センターの巻き込みや他県センターへのノウハウ移転とすればきれいに整理できる
- 話は変わるが、災害支援など広域連携が必要で、連携の話も良く出ているがなかなか具体的に着手できていない。中四国の連携はそういう意味では必要性があると思う

運営委員会による意見交換を踏まえ、当初予定していた通り香川県は岡山県エリアの拡大と解釈し、新たにコンソ構成団体を加えることは見送ることとした

エリアの拡大については、市民セクターの支援力を包括的に高めていく視点で整理し、他県への展開だけでなく県内の市町センター等の巻き込みにも力を入れていくこととした

③ 2021 通常の公募状況について

1) 予算および各県公募分野の確認

各県の支払助成金額および公募分野について意見交換を行い、以下の通り決定した。

支払助成金額総額：12,000 万円

鳥取県／2,000 万円／1～2 団体採択想定／地域活性化

島根県／2,000 万円／1 団体採択想定／IT をキーワードにした地域活性化

岡山県／2,000 万円／1 団体採択想定／障がい者（グレーゾーン）支援

香川県／2,000 万円／1 団体採択想定／地域活性化（空き家活用）

広島県／2,000 万円／1 団体採択想定／地域活性化

山口県／2,000 万円／1～2 団体採択想定／若者の就学就労支援、コミュニティ支援

管理的経費、PO 関連経費、評価関連経費については、JANPIA 指定のルールの中で、過去実施の方針に沿って組むこととした。

各県担当者がロジックモデルを作成し、運営委員会に図ることとした。

事務局において6月25日までに案を作成し、運営委員会に図ることとした。

④ その他

事務局より人件費単価見直しの提案があり、見直しについては承認された
具体の単価については事務局案を作成し、別途運営委員会において妥当性を図り決定する事とした
人件費単価の切り替えについては JANPIA の意見も確認する事とした

毛利委員より、とっとり県民活動活性化センターの人事について情報の共有があった

- 6月末をもって毛利氏が事務局長を退職、7月より理事長に就任となる（正式な決定はまだ）
- 新たな体制において本事業をどう進めていくかについては毛利氏も含め、新事務局長、新事務局次長と話し合っ進めていく

(5) 資料等

資料1 中国5県コンソロジックモデル新案

以上で議事のすべてを終了し、15:00 に閉会した。

以上の議決を明確にするために本議事録を作成し、運営委員がこれに押印する。

2021年9月30日

中国5県休眠預金等活用コンソーシアム

運営委員長	松原裕樹	
運営委員	毛利葉	
運営委員	森山忍	
運営委員	石原達也	
運営委員	伊藤彰	